1 課題プログラムの提出方法

1.1 プログラムの提出先

作成したプログラムは

https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/report/

から提出する。その際 , リモートホスト (実習用コンピュータ) で ${
m w3m}$ というブラウザを利用する。

1.2 テキストベース WWW ブラウザ (w3m) の使い方

1.2.1 起動法

w3m [URI または file]

例) w3m https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/report/

起動時にオプションを指定することも可能。詳細は man ページを参照のこと。xterm & を実行して新しいウィンドウを作ってから,w3m を起動するのが便利かもしれない。ただし,送信ファイル名記入時の混乱を防ぐために,w3m はソースファイルが存在するディレクトリで起動するのがよい。

1.2.2 操作法

q または Q 終了

<TAB> 次のリンクにカーソル移動

<RET> カーソル位置のリンクページ閲覧やフォームの記入等(GUI ブラ

ウザでの左クリックに相当する操作)

CTRL-c 操作の中断

B 現在表示中のバッファを削除(「前のページに戻る」的操作)

H ヘルプ画面の表示

U URL を指定してページを表示

o (小文字のオー) 設定変更画面を表示

カーソル移動や画面の上下移動等の操作には less, emacs, vi 流のコマンドが利用可。画面の乱れは CTRL-l で直せる。その他のコマンドについては,ヘルプ画面や \max ページを参照のこと。 w3m はファイル名の誤りを感知しないため,ファイル名の記入誤りを防ぐために,フォームの記入では <TAB> によるファイル名の補完を使うこと。